

公安委員会定例会議(第20回)の開催状況

第1 日 時 令和7年8月6日(水)

午後2時10分 ～ 午後4時46分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議会議録

総務室から、令和7年第19回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

(3) 禁止命令等実施結果

生活安全部から、禁止命令等実施結果について伺いがあり了承した。

(4) 警察職員等の援助要求

警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。

(5) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、17件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

2 報告事項

(1) 令和7年上半期愛媛県警察運営目標推進状況

警務部長から、令和7年上半期愛媛県警察運営目標推進状況について報告があった。

委員から「交通事故防止のため、交通環境の整備にも引き続き努めて欲しい。テロ等違法行為の未然防止のため、各種事業者への対策等をしっかりと実施して欲しい。休暇取得の奨励は職員の募集活動にも影響を及ぼすため、しっかりと浸透させて欲しい」との発言があった。

委員から「警察相談の増加は、相談しやすい警察となっていることの表れと感じた。特殊詐欺被疑者の検挙のため、だまされた振り作戦や仮想身分捜査など、あらゆる捜査手法を講じて欲しい。人材確保が厳しい情勢であるが、警察業務のやり甲斐をアピールしながら、真に警察職員を希望する人を採用できるような取組を実施して欲しい」との発言があった。

委員から「認知件数が増加している重要窃盗犯や特殊詐欺など、県民の身近で発生する犯罪は、県民の安全安心のため、被疑者の徹底検挙に

努めて欲しい。また、男性の育児休暇や育児休業に対する取組が促進されており、男性も育児休業を気兼ねなく取得できる組織になれば、警察組織の新たな魅力となり採用活動の強化にも繋がると思う」との発言があった。

(2) 風営適正化法改正に伴う取組状況

生活安全部長から、風営適正化法改正に伴う取組状況について報告があった。

委員から「悪質な業者の排除に向け、改正法を適正に活用して欲しい」との発言があった。

委員から「悪質なホストクラブの暗躍は、治安の悪化やイメージの低下を伴うため、ひいては愛媛県全体のイメージも損なうものである。罰則等を適用して県民を守る取組をしっかりと行って欲しい」との発言があった。

委員から「女性を陥れる卑劣な行為を行う悪質なホストクラブには、看過せず関係法令を適用していただきたい」との発言があった。

(3) 交通警察JOBセミナーの開催

交通部長から、交通警察JOBセミナーの開催について報告があった。

委員から「交通警察に特化した取組であり、各種媒体等を用いて興味がある方へのアピールがしっかりできていると感じた」との発言があった。

委員から「交通警察の中でも白バイは特に人気があるため、今回のような取組は非常に効果があると感じた。同様に警察活動取材したドキュメンタリー等を見て刑事になりたいという方もいるため、このようなセミナーの開催も期待したい」との発言があった。

委員から「今回のような体験型のセミナーは非常に効果があると感じている。参加者側にも警察官を希望する熱意があるため、その意気込みに応えられるよう今後も取り組んで欲しい」との発言があった。

(4) 第27回参議院議員通常選挙に伴う警護実施結果

警備部長から、第27回参議院議員通常選挙に伴う警護実施結果について報告があった。

委員から「選挙警護においては、実施の都度、細かな反省教訓があるため、それを生かし今後の警護に万全を期して欲しい」との発言があった。

委員から「過去には安倍元総理襲撃事件など悲惨なものもある。警護は大変な緊張感を伴うものであるが、しっかりと完遂していただきたい」との発言があった。

委員から「警護対象者をはじめ、警護に従事する方も事故がないよう日々の訓練を重ねて欲しい」との発言があった。

(5) 監察案件に関する報告

監察官室から、監察案件に関する報告があった。

(6) 重傷ひき逃げ事件の検挙（松山東署）

交通部から、重傷ひき逃げ事件の検挙に関する報告があった。

以 上